

# 現代中国語における 特殊なヴォイス構文の意味と論理構造

—「被…把…」構文及び「把…被…」構文を例として—

Meaning and Logic of Special Voice Constructions  
in Mandarin Chinese Semantics

温 琳

Lin WEN

**摘要** 众所周知,汉语用“被”字句表示被动,“把”字句表示处置。研究这两类句子的论文、专著也有很多,这些研究尽管考察点各不相同,但就单纯的“被”字句或者“把”字句作出了点或者面的描述。可以说语法界对单纯“被”字句和单纯“把”字句的研究已十分详尽。

可是事实上我们所见到的并非均为单纯“被”字句和单纯“把”字句。一些比较特殊的“被”字句,比如“被……给……”句、“被……把……”句等;还有一些比较特殊的“把”字句,比如“把……得……”句、“把……被……”句,非但存在而且为数不少。特别对于“被……把……”句和“把……被……”句,日本学生极易混淆,难以理解。

本文将从形式语义学的观点出发,通过分别为“被……把……”句和“把……被……”句构建逻辑式考察两种句型的逻辑结构,挖掘本质,阐明语义,从而帮助日本学生正确理解和准确使用此类句型。

## キーワード

現代中国語 受身 処置 述語論理 意味解釈

## 目次

1. はじめに
2. 先行研究
3. 「被…把…」構文
  - 3.1 「被…把…」構文の定義と論理構造
  - 3.2 実例による検証
4. 「把…被…」構文
  - 4.1 「把…被…」構文の定義と論理構造
  - 4.2 実例による検証
5. 「被…把…」構文と「把…被…」構文の比較
6. 結びにかえて

### 1. はじめに

現代中国語におけるヴォイスを表す構文、つまり「被構文」、「把構文」<sup>1)</sup>などについては、古くから関心が寄せられ、様々な角度から研究がなされてきた。しかし、「被…把…」構文や「把…被…」構文のような特殊な「ヴォイス構文」についての研究はほとんど見られない。実際、これらの構文は中国語を学習する上での難点の一つであり、中国語教育を行う上で避けては通ることのできない問題である。

ヴォイスという言語現象を表す構文は日本語にもある。そのため、日本人学習者が単純なヴォイス構文、つまり一般的な「被構文」<sup>2)</sup>、一般的な「把構文」<sup>3)</sup>を習得するのはさほど難しいことではない。しかし、「被…給…」構文や「被…把…給…」構文、「被…把…」構文、「把…被…」構文、「把…得…」構文のような特殊なヴォイス構文についてはやや苦手とする傾向が見られる。

本稿では「被…把…」構文、「把…被…」構文について論を展開する。上記の特殊なヴォイス構文の中でも、「被…把…」構文及び「把…被…」構文は最大の難関といえる。「被…把…」構文、

「把…被…」構文については、次のような問題点が見られる。(1) 構文の内部構造はどうなっているのか、(2)どのように意味解釈をすれば良いのか、(3)「被…把…」構文及び「把…被…」構文は一見すると似ているが、同じ構文と見なして良いのか、それとも全く異なるものなのか。

本稿ではまず形式意味論の立場から、現代中国語におけるこの二つの構文を論理式で記述することによって、その論理構造を構築する。次に、文献調査によって収集した実例を対象に、構築された論理構造を検証し、その妥当性を確認する。第三に、論理構造の妥当性を立証したうえで、「被…把…」構文、「把…被…」構文に意味解釈を与える。第四に、本稿で構築された論理構造を用いて、「被…把…」構文と「把…被…」構文の内部構造を明らかにすることによって、二つの構文にどのような関係があるかを解明する。

## 2. 先行研究

中国語のヴォイスに対する先行研究は多数あるが、本論で取り上げる「被…把…」構文、「把…被…」構文のようなやや特殊な構文についての先行研究はあまり見られない。

数少ない先行研究を調べた結果、「被…把…」構文、「把…被…」構文に対する研究は大きく二つに分かれることがわかった。一つは「被…把…」構文と「把…被…」構文には基本的に同じ要素が用いられていることから、両構文は共に受身を表す「被構文」と主張するものである。この主張では両構文の違いについて、「把…被…」構文は「被…把…」構文より「処置」効果があるだけだとしている。代表的な研究としては李珊(1994)があげられる。李珊(1994)は「被…把…」構文と「把…被…」構文について、次のように述べている。「被…把…」構文の語順は「被構文」が前で「把構文」が後の場合が圧倒的に多いが、まれにその逆のケー

ス、つまり「把…被…」構文もある。「被…把…」構文は構造が複雑だが、意味上「受身」を表すことから、一つの「被構文」とみなされる。「把…被…」構文は「把」の表す「処置」を強調する効果があるが、「把構文」はまた「被」の後に移すことが可能であるため、「被構文」にもなる。」(李珊(1994) 137. 筆者訳) 「被…把…」構文と「把…被…」構文に関する先行研究のもう一つの傾向は「被…把…」構文と「把…被…」構文の相互変換を考察するものである。代表的な例として曾常紅(2004)、顔力涛(2009)をあげることができる。曾(2004)は、両構文の相互変換を考察することにより、相互変換の割合やそれぞれの構文が表す文法効果を明らかにしている。また、顔(2009)は同じく両構文の相互変換を考察することにより、なぜ「把…被…」構文が「被…把…」構文より数が少ないかを検証している。だが、本論とは直接のかわりがないため、詳細は割愛させていただく。

### 3. 「被…把…」構文

#### 3.1 「被…把…」構文の定義と論理構造

(1) 「被…把…」構文とはどのような構文か。

「被…把…」構文とは「被構文」の中に「把構文」が文の一部として埋め込まれている構文を指す。

(2) 「被…把…」構文の論理構造

以下実在する用例にもとづいて「被…把…」構文の論理構造について考察していこう。なお、本稿用例の日本語訳はすべて筆者によるものである。

文①について考えてみよう。

①. 你的才力本不及他，况且又被你母亲把你惯坏。

(老舍《新时代的旧悲剧》)

(あなたは才能がもともと彼に及ばない上、お母さんによつ

て甘やかされていた。)

例文①の議論と関連する部分を取り上げると、次の①-1になる。

①-1. 你被你母亲把你惯坏。

(あなたがお母さんによって甘やかされた。)

文①-1は「把構文」が埋め込まれた形の「被構文」であり、典型的な「被…把…」構文である。ここで文①-1の分析には、次の方法を用いる。まず文①-1を二つの部分に分け、各部分の論理式を求め、次に得られた論理式を組み合わせることによって文①-1の論理式を求めるというものだ。

それでは文①-1を見てみよう。この文は意味上、次の①-2の母型文と①-3の埋め込み文に細分化できることがわかる。

①-2. 你被你母亲

①-3. 你母亲把你惯坏

まず①-2の論理式を考えてみよう。①-2は「あなたがお母さんによって被る」<sup>4)</sup>という一つの命題内容しか含んでいないため、論理式は次の①-2'になる。“被”関数は本来三つの項を持つ関数である。そのため、①-2'の論理式の第三項は空になる。①-1を分析する際には、この空白部分に①-3の文の論理式が埋め込まれることになる。

①-2' 被' {你, 母亲, }

コウムル' ~ガ ~ニヨッテ ~コトラ



たを甘やかす」という意味を、“把’”関数の値である“把’ {母亲, 你, 惯坏’ (母亲, 你)}”が「お母さんが、あなたに、お母さんがあなたを甘やかすことを、もたらす」という意味を、論理式①-1’ 全体で「あなたはお母さんによってお母さんがあなたにお母さんがあなたを甘やかすことをもたらすこと、を被る」という意味を表している。

ここで「あなたはお母さんによってお母さんがあなたにお母さんがあなたを甘やかすことをもたらすこと、を被る」という表現は「あなたはお母さんによって甘やかすことをこうむる。」を意味していると考えられる。これが実際に文①-1の表す意味である。

ここで一つの仮説を提起したい。それは現代中国語の「被…把…」構文が三つの項を持つ関数であり、かつ関数の第三項は一つの「把構文」だということである。温 (2009) によれば、「被構文」は三つの項を持つ関数である。したがって、「被…把…」構文の第三項も三つの項を持つ関数ということになる。

### 3.2 実例による検証

ここでは実例を分析することにより、3.1で示した仮説を検証してみよう。その結果、文の正しい意味が得られれば、筆者の仮説が立証されることになる。なお、検証する際は、用例を直接分析する方法を用いる。また、それぞれの論理式の下に付したカタカナ表記は当該論理式に対する意味制約である。紙幅の関係上、実例からの検証は一例にとどめる。詳細な検証プロセスは温 (2008) を参照されたい。

②. 莫大年问：“听说你被军阀把天灵盖掀了。”

(老舍 《赵子曰》)

(「あなたは軍閥によって頭蓋骨を割られたそうだね」と莫大年が聞いた。)

例文②の議論と関連する部分を取り上げると、次の②-1になる。

②-1. 你被军閥把天灵盖掀了。

(あなたが軍閥によって頭蓋骨を割られた。)

この文は「あなたが軍閥によって被る」と「軍閥が頭蓋骨にもたらす」と「軍閥が頭蓋骨を割る」と「軍閥が頭蓋骨に軍閥が頭蓋骨を割ることをもたらす」と「あなたは軍閥によって軍閥が頭蓋骨に軍閥が頭蓋骨を割ることをもたらすことを被る」という五つの命題内容を含んでいる。したがって文②-1の述語論理表記は次のようになる。

②-1' 被' [你, 军閥, 把' {军閥, 天灵盖, 掀' (军閥, 天灵盖)}] <sup>5)</sup>

モタラス' ~ガ ~ニ ~コトヲ

コウムル' ~ガ ~ニヨッテ ~コトヲ

ここで“被' [你, 军閥”が「あなたが軍閥によって被る」という意味を、“把' {军閥, 天灵盖”が「軍閥が頭蓋骨にもたらす」という意味を、“掀' (军閥, 天灵盖)”が「軍閥が頭蓋骨を割る」という意味を、“把' {军閥, 天灵盖, 掀' (军閥, 天灵盖)}”が「軍閥が、頭蓋骨に、軍閥が頭蓋骨を割ることを、もたらす」という意味を、さらに全体で「あなたは軍閥によって軍閥が頭蓋骨に軍閥が頭蓋骨を割ることをもたらすことを、被る」という意味を表している。

ここで「あなたは軍閥によって軍閥が頭蓋骨に軍閥が頭蓋骨を割ることをもたらすことを、被る」という表現は「あなたは軍閥によって頭蓋骨を割ることをこうむる。」を意味していると考えられる。これが実際に文②-1の表す意味である。

筆者の仮説にもとづいた検証により、用例の正しい意味解釈が

得られたため、筆者の「被…把…」構文に対する仮説が立証されたと言えるだろう。つまり、「被…把…」構文の論理構造は次のAのようになる。

A コウムル' [～ガ、～ニヨッテ、{モタラス' (～ガ、～ニ、～コトヲ)}]

#### 4. 「把…被…」構文

##### 4. 1 「把…被…」構文の定義と論理構造

(1) 「把…被…」構文とはどのような構文か。

「把…被…」構文とは「把構文」の中に「被構文」が文の一部として埋め込まれている構文を指す。

(2) 「把…被…」構文の論理構造

以下具体的な用例にもとづいて「把…被…」構文の論理構造について考察していこう。

文③について考えてみよう。

③. 及至到了后山，他（祥子）只顾得爬山了，而时时想到不定哪时他会一交跌到山涧里，把骨肉被野鹰们啄尽，不顾得别的。（老舍《骆驼祥子》）

（後の山にたどり着くまで、彼は山を登ることにばかり気を取られ、いつもいつか転んで山間に落ち、骨と肉が鷹に食べられるかも知れないと思い、他のことは一切顧みなかった。）

例文③から議論に必要な部分を取り出すと次のようになる。

③-1. 他把骨肉被鹰啄尽。

（彼が骨と肉が鷹によって食べられた。）

文③-1は「被構文」が埋め込まれた形の「把構文」であり、典型的な「把…被…」構文である。ここで文③-1を分析する際

には、前の文①-1と同じように、③-1をまず二つの部分に分け、各部分の論理式を求め、次にその得られた論理式を組み合わせることによって文③-1の論理式を求めるという方法を用いる。

それでは文③-1を見てみよう。この文は意味上、次の③-2の母型文と③-3の埋め込み文に細分化できることがわかる。

③-2. 他把骨肉

③-3. 骨肉被鷹啄尽

まず③-2の論理式を考えてみよう。③-2は「彼が骨と肉にもたらず」という一つの命題内容しか含んでいないため、論理式は次の③-2'になる。“把”関数は本来三つの項を持つ関数である。そのため、③-2'の論理式の第三項は空になる。③-1を分析する際には、この空白部分に③-3の文の論理式が埋め込まれることになる。

③-2' 把' {他, 骨肉, }

モタラス' ~ガ ~ニ ~コトラ

次に③-3の論理式について考えてみよう。文③-3を観察すると、「被構文」であることがわかる。ここでは温(2009)にある「被構文」の分析を参考にして、③-3の論理式を考えてみたい。

文③-3は「骨と肉が鷹によって被る」と「鷹が骨と肉を食べる」と「骨と肉が鷹によって鷹が骨と肉を食べることを被る」という三つの命題内容を含んでいる。したがって、その論理式は次の③-3'のように記述できる。

③-3' 被' {骨肉, 鷹, 啄尽' (鷹, 骨肉)}]

コウムル' ~ガ~ニヨッテ ~コトラ



一つの「被」構文だということである。温（2009）によれば、「把構文」は三つの項を持つ関数である。したがって、「把…被…」構文の第三項も三つの項を持つ関数ということになる。

#### 4.2 実例による検証

ここでは用例を分析することにより、4.1で示した仮説を検証してみよう。その結果、文の正しい意味が得られれば、筆者の仮説が立証されることになる。なお、検証する際は、用例を直接分析する方法を用いる。また、それぞれの論理式の下に付したカタカナ表記は当該論理式に対する意味制約である。紙幅の関係上、実例からの検証は一例にとどめる。詳細な検証プロセスは温（2008）を参照されたい。

- ④. “有什么可喜? 兄弟!” 赵四张着大嘴笑的把舌根喉孔都被看见。  
(老舍 《老张的哲学》)  
(「何がおめでたいんだ? 兄弟!」 趙四が舌の付け根や喉が見えるほど口を大きく開いて笑った。)

例文④から議論に必要な部分を取り出すと次のようになる。

- ④-1. 赵四把喉孔被看见。  
(趙四は喉が見られる。)

この文は「趙四が喉にもたらす」と「喉が誰かによって被る」と「誰かが喉を見る」と「喉が誰かによって誰かが喉を見ることを被る」と「趙四が喉に喉が誰かによって誰かが喉を見ることを被ることをもたらす」という五個の命題内容を含んでいる。したがって例文④-1の述語論理表記は次のようになる。



A コウムル' [ ~ガ、~ニヨッテ、{モタラス' (~ガ、~ニ、  
~コトヲ)} ]

4.2で得られた「把…被…」構文の論理構造はBである。

B モタラス' [ ~ガ、~ニ、{コウムル' (~ガ、~ニヨッテ、  
~コトヲ)} ]

わかりやすくするため、A、Bを並べる。

A コウムル' [ ~ガ、~ニヨッテ、{モタラス' (~ガ、~ニ、  
~コトヲ)} ]

B モタラス' [ ~ガ、~ニ、{コウムル' (~ガ、~ニヨッテ、  
~コトヲ)} ]

Aは一つの受身構文であり、その第三項が処置構文である。このことから「被…把…」構文は受身構文であることがわかる。Bは一つの処置構文であり、その第三項が受身構文である。このことから「把…被…」構文は処置構文であることがわかる。すなわち、「被…把…」構文が受身構文であることと「把…被…」構文が処置構文であることが述語論理によって立証されたこととなる。厳密に言うと、「被…把…」構文は文中に処置構文を含む受身構文であり、「把…被…」構文は文中に受身構文を含む処置構文である。

## 6. 結びにかえて

以上、形式意味論の枠組みに従い、「被…把…」構文、「把…被…」構文の論理構造を明らかにし、意味を解釈してきた。考察のプロセスが示しているのは、筆者の仮説、つまり「被…把…」構

文、「把…被…」構文を三個の項を持つ関数と見なし、かつ関数の第三項がまた三つの項を持つ関数であり、次の論理構造に基づいて意味解釈を与えることが妥当だということを示している。

「被…把…」構文

コウムル' [ ~ガ、~ニヨツテ、{モタラス' (~ガ、~ニ、~コトヲ)} ]

「把…被…」構文

モタラス' [ ~ガ、~ニ、{コウムル' (~ガ、~ニヨツテ、~コトヲ)} ]

また、本稿で構築された「被…把…」構文の論理構造と「把…被…」構文の論理構造を分析することにより、「被…把…」構文と「把…被…」構文が同じ構文であるという考えを根本から覆し、両構文がまったく異なる構文であるということを証明できた。そして「被…把…」構文が受身構文であり、「把…被…」構文が処置構文であることが述語論理によってはじめて立証された。

最後に本稿の位置づけを断っておきたい。そのためには、ここで述語論理学の研究の原点をふりかえっておく必要がある。本稿で用例を分析する際、述語論理学の手法を用いた。それは数学や論理学の方法を用いて自然言語である中国語を記述し、意味解釈を与えるというものである。だが、これは述語論理学の原点ではない。述語論理学の原点はコンピューターに自然言語を認識させ、意味解釈をアウトプットさせることである。自然言語を記述し、意味解釈を付与するということは、そのためのプロセスなのである。

それゆえ、本稿もまだ研究の途中結果といわざるを得ない。述語論理学の原点を忘れず、最後までやり遂げることを今後の課題にしたい。

---

【注】

- 1) 現代中国語の「使構文」、「被構文」、「把構文」をヴォイス構文として取り扱う。各構文の定義については温 (2008) を参照されたい。
- 2) 温 (2008) は「被構文」を「一般的な被構文」と「特殊な被構文」に分けている。詳細な定義や用例については温 (2008) を参照されたい。
- 3) 温 (2008) は「把構文」を「一般的な把構文」と「特殊な把構文」に分けている。詳細な定義や用例については温 (2008) を参照されたい。
- 4) 命題の時制が本稿の焦点ではないため、本稿において文の時制を記述しないこととする。
- 5) 文②-1 の完全なる論理式は次になる。  
被' [你, 军阀, 把' {军阀, 天灵盖, 掀' (军阀, 天灵盖)}] & 有' (你, 天灵盖)

“有' (你, 天灵盖)”が「あなたの(ところに)頭蓋骨(がある)」、つまりあなたの頭蓋骨という意味を表す。本稿の議論を浮き彫りにするため、ここではあえて簡略な論理式を用いた。次の文③-1 の論理式も同様である。

- 6) 文③-1 の完全なる論理式は次になる。  
把' [他, 骨肉, 被' {骨肉, 鷹, 啄尽' (鷹, 骨肉)}] & 在' (骨肉, 他)  
“在' (骨肉, 他)”が「彼の(ところにある)骨と肉」、つまり彼の骨と肉という意味を表す。
- 7) 「誰か」という「不確定」の意味の定項を表す。

---

【参考文献】

- 崔希亮, 1995, 「“把”字句の若干句法語義問題」, 『世界漢語教学』, 第三期  
方立, 2000, 『邏輯語義学』, 北京語言文化大学出版社  
範曉, 2000, 「論致使結構」, 『語法研究和探索(十)』, 商務印書館  
范曉, 2001, 「動詞的配備和漢語的把字句」, 『中国語文』, 第四期  
龔千炎, 1994, 「論“把”字兼語句」, 『語言文字探究』, 北京語言学院出版社  
郡司隆男, 1987, 『自然言語の文法理論』, 産業図書  
何英王, 2005, 『語義学』, 上海外語教育出版社  
賈彦德, 2005, 『漢語語義学』, 北京大学出版社  
蔣徽・潘海華, 1998, 『形式語義学引論』, 中国社会科学出版社  
李臨定, 1986, 『現代漢語句型』, 商務印書館

- 李臨定, 1988, 『漢語比較變換語法』, 中国社会科学出版社
- 李珊, 1994, 『現代漢語被字句研究』, 北京大学出版社
- 劉月華等, 1983, 『實用現代漢語語法』, 外語教學與研究出版社
- 劉曉華, 1998, 「現代漢語把/被構造與動詞重複構造的互補分布現象」, 『中國語言學年鑒』
- 呂叔湘, 1980, 『現代漢語八百詞』, 商務印書館
- 呂叔湘, 1942, 『中國文法要略』, 商務印書館
- 呂叔湘, 1965, 「“把”字句、“把”字句動詞帶賓語」, 『漢語語法論文集』, 北京商務印書館
- 呂叔湘, 1980, 「把字用法的研究」, 『漢語語法論文集』, 北京商務印書館
- 馬清華, 2006, 『語義的多維研究』, 語文出版社
- L・ウイトゲンシュタイン, 2005, 『論理哲學論考』(野矢茂樹訳), 岩波書店
- 木村英樹, 1997, 「漢語被動句的意義特徵及其結構上之反映」, Cahiers de Linguistique-Asia Orientale 26
- 繆錦安, 1990, 『漢語的語義結構和補語形式』, 上海外語教育出版社
- 野矢茂樹, 2006, 『ウイトゲンシュタイン「論理哲學論考」を読む』, 筑摩書房
- 顏力濤, 2009, 「論現代漢語中的“被”字、“把”字套用句式—从句式中“被”字或“把”字與“給”字替換的角度分析」, 大慶師範學院學報
- アイバン・A・サグ、トーマス・ワソー, 2001, 『統語論入門: 形式的アプローチ』(郡司隆男、原田康也訳), 岩波書店
- 沈家煊, 1995, 「“有界”與“無界」, 『中國語文』, 第五期
- 沈家煊, 2000, 「句式與配伍」, 『中國語文』, 第四期
- 沈家煊, 2002, 「如何處置“處置式”——試論把字句的主觀性」, 『中國語文』, 第五期
- 宋玉柱, 1992, 「“把”字句」, 『現代漢語語法基本知識』, 語文出版社
- 宛新政, 2005, 『現代漢語致使句研究』, 浙江大學出版社
- 白井賢一郎, 1985, 『形式意味論入門—言語・論理・認知の世界—』, 産業図書
- 宋玉柱, 1992, 「“把”字句」, 『現代漢語語法基本知識』, 語文出版社
- 宛新政, 2005, 『現代漢語致使句研究』, 浙江大學出版社
- 溫琳, 2008, 「現代中國語のヴォイス構文の意味と論理」, 博士論文
- 溫琳, 2009, 「現代中國語における受身構文の意味と論理構造 —「被構文」—」, 『中國語研究論集(神奈川大學中國語學科創設20周年記念)』, 神奈川大學中國語學科

- 
- 温琳, 2008, 「現代中国語における処置構文の意味と論理構造 — 「把構文」 —」, 『人文研究』 No.165, 神奈川大学人文学会
- 熊仲儒, 2004, 『現代漢語中的致使句式』, 安徽大学出版社
- 薛鳳生, 1987, 「試論“把”字句的語義特徵」, 『語言教学与研究』, 第一期
- 薛鳳生, 1994, 「“把”字句和“被”字句的結構意義」, 『功能主義和漢語語法』, 北京語言學院出版社
- 楊国文, 2002, 「漢語“被”字式在不同種類的過程中的使用狀況考察」, 『當代語言学』, 第一期第四卷
- 朱德熙, 1980, 『現代漢語語法研究』, 商務印書館
- 朱德熙, 1982, 『語法講義』, 商務印書館
- 張伯江, 2000, 「論“把”字句的句式語義」, 『語言研究』, 第一期
- 張伯江, 2001, 「被字句和把字句的对称与不对称」, 『中国語文』, 第六期
- 曾常红, 2004, 「現代漢語中“被”字句与“把”字套用的句式」, 『語言研究』